

## 生産熱田の神の由緒に付いて

大正腑天神の大霊神理氣【熱田の神】は、太陽をお創造になり、森羅万象  
総ての生氣物の遺伝子の源と成る【丹と芒種のエネルギー】を、太陽に練り  
阿弥生産出され、その【丹と芒種のエネルギー】を、太陽の周りに留め置かれ  
たので御座居ます。

そして、太陽の真光を諸に受け留めさせに成り、互いに照り輝き返しあい、  
激しく高まり来る熱気を以って、日輪界を熱い田にお変えに成り、滾り来る  
真光を以って【丹と芒種のエネルギー】が更に激しく反応し合い、【太陽の真  
光と芒種のエネルギー】が太陽の真光に吸集されて行き、丹がその真光をど  
こにでも、何時でも、吸収する事が出来る、亢進状態を創り出されたのが、  
日輪太陽界で御座居ます。

この日輪太陽界のお活動氣を熱田の神と申上げ、その神のお祭を生産祭り  
とお祀りして居るので御座居ます。  
この亢進状態の活動氣には、九津の霊神理氣のお活動氣が共に在るので  
御座います。

その九津の霊神理氣の活動氣とは、太陽の真光と丹と芒種のエネルギーの  
三神が日輪太陽であり、宇宙産迂迦の障壁賀の天王平で、丹と生が結合して、  
丹生が憑軀子され、丹生丹生魂遺伝子で創られた植物・動物・人間を現す三  
大蔵王権現と、更に月津に行き、伊勢生成の神（雄蕊雌蕊・雄雌・男女）となられ  
た三大太元帥明王の九霊神理氣の活動氣で御座居ます。

その九神理氣のお活動氣を、解り易くお観せくださって居るのが、空海弘  
法大師さまがお描きになられた「不動明王像」で御座居ます。

その不動明王さまの光背には、日輪太陽の施津が描かれ、九霊神理氣のお  
活動氣が現されていて、熱田の神のお活動氣の御姿で御座居ますと共に、日  
本国憲法第九条のお活動氣の施津で御座居ます。

昭和二十年八月十五日を以って、連合国に無条件降伏された昭和天皇は、  
孝明天皇を暗殺して、意のままになる天皇を擁立して、日本国の為でもなく、

世界平和の為でも無く、自我の権力欲望に引きずられて、アメリカ・イギリスとも和睦出来ず、戦争に突入して行き、広島・長崎に原子爆弾の投下の憂き目に遭いながらも、降伏出来ずに居る日本国の権力に対して、昭和天皇は万難を廃し、皇祖皇宗の御霊にお縋りに成られた御意志は、「九氣九神の熱田の神」九条に、二度と戦争を仕無い事をお誓いに成り、全国民を代表されて、熱田の神「九条の神」にお縋りに成られたので御座いました。

昭和天皇の御意志「九条の神」に、日本国民の総てがお従い申し上げたので御座いました。

『それが為に、あれ程荒廃していた国を、見事に復興させる事が出来たのは、熱田の神霊理氣「九条の神」の御陰と知り置かねば成らぬものを、九条なる熱田の神を無視して、憲法第九条を改定して、再び戦争の出来る国造りを、美しい国造りとは何事ぞ。美しい国造りとは戦せぬ国を表す言葉です。

この様な事で熱田の神「九条の神」のお許しは戴けず、今度は原子爆弾ではなく、核戦争の戦場と成り、日本国は消滅する国と成るであります。』と、「九条の神」が仰せで御座居ます。

畏

芽も花も 野辺の若草 萌えるらん

美しいこの国 戦せぬ国

中津川の詩人

追伸

ここに弘法大師さまが現された

九条九神の神の御姿を掲げさせて戴きます。

平成十八年十二月九日

三代目 東核芒種大伝道師

加古藤市

